国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Press Release

北陸地方整備局
金沢港湾・空港整備事務所

記者発表資料

発　表　日　時
令和７年３月１０日

金沢港戸水岸壁（災害復旧）の本体工事に着手

北陸地方整備局では、令和６年能登半島地震で被災した金沢港戸水岸壁の本格復旧工事を進め、１２月から既設構造物の撤去に着手しています。

この度、復旧工事の主要工種の一つである、鋼矢板の打設を３月１２日から、液状化対策の地盤改良を３月１３日から着手します。

１．復旧工事の概要

工事名：金沢港（南地区）岸壁（-10m）（戸水1号・2号）（災害復旧）改良外1件工事
工　期：令和６年１０月１７日～令和８年３月２５日
受注者：東洋・本間・あおみ特定建設工事共同企業体
工事内容：撤去工、本体工（鋼矢板打設）、地盤改良工、上部工、付属工、舗装工 など
（別紙１、別紙２参照）

２．報道関係の皆様へ（取材申込み）

３月１３日（木）に、現地での施工状況の取材が可能です。取材を希望される場合は、予め別紙３にて登録頂いた上で、当日９時までにご来場ください。

日時：３月１３日（木）９時から工事概要等説明予定
場所：金沢港戸水ふ頭（別紙３参照）
当日の実施可否：中止する場合は、３月１２日（水）１７時までに連絡します。

同時発表記者クラブ

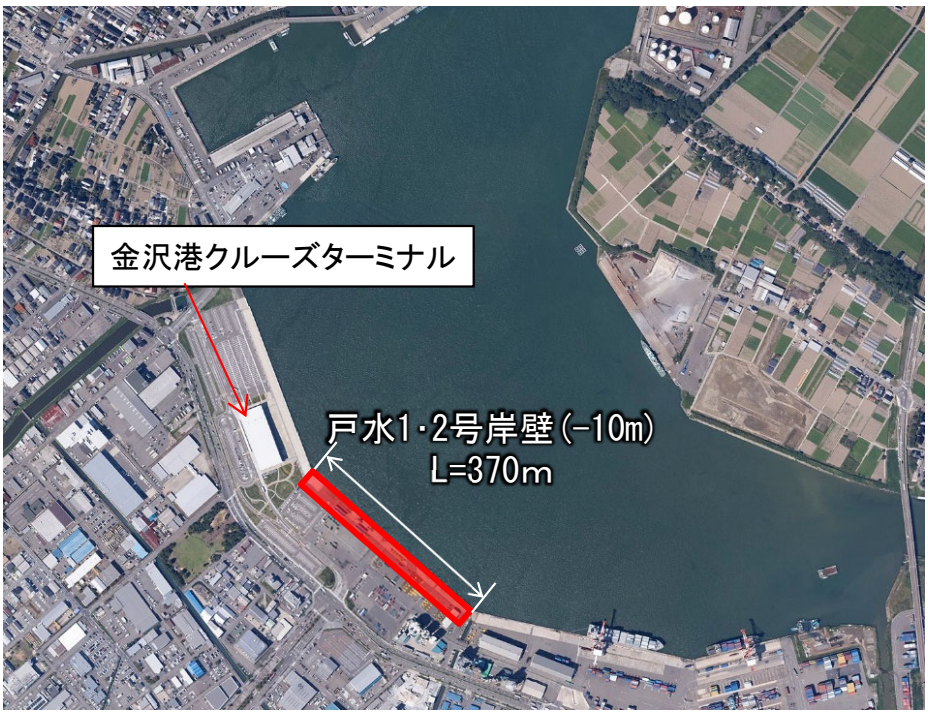
石川県政記者クラブ
専門紙

【問い合わせ先】
国土交通省 北陸地方整備局
金沢港湾・空港整備事務所
副 所 長　田中（たなか）、工務課長 石野（いしの）
TEL：076-267-2241

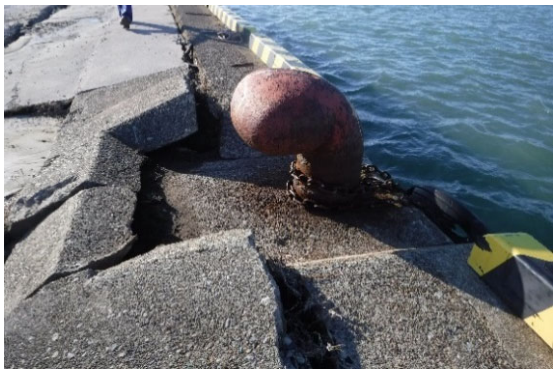
金沢港（南地区）岸壁（-10m）（戸水1号・2号） 復旧概要

別紙1

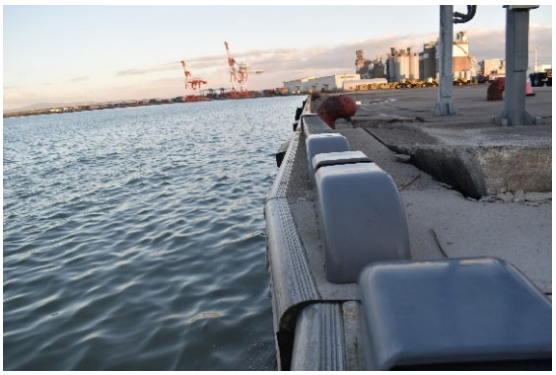
位置図・施工箇所



被災状況



上部工の損傷

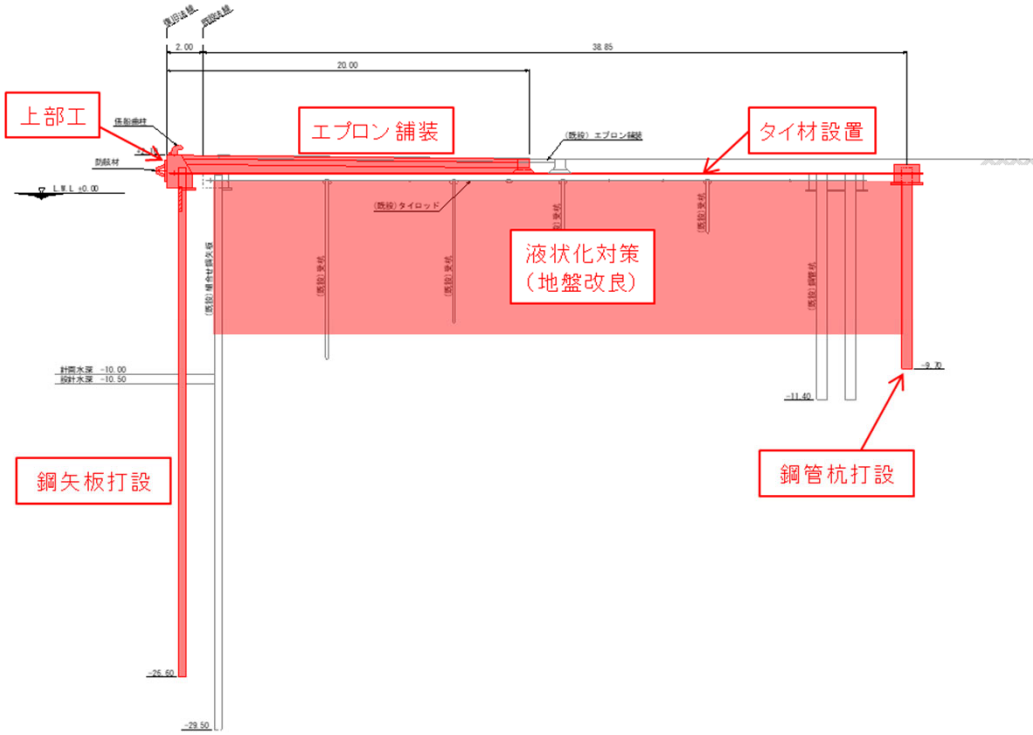


岸壁法線のずれ

復旧工事手順

上部工・エプロン撤去
↓
鋼矢板 打設
↓
液状化対策（地盤改良）
↓
控え鋼管杭打設
↓
タイ材設置
↓
上部工・付属工
エプロン舗装
↓
復旧完了

復旧断面



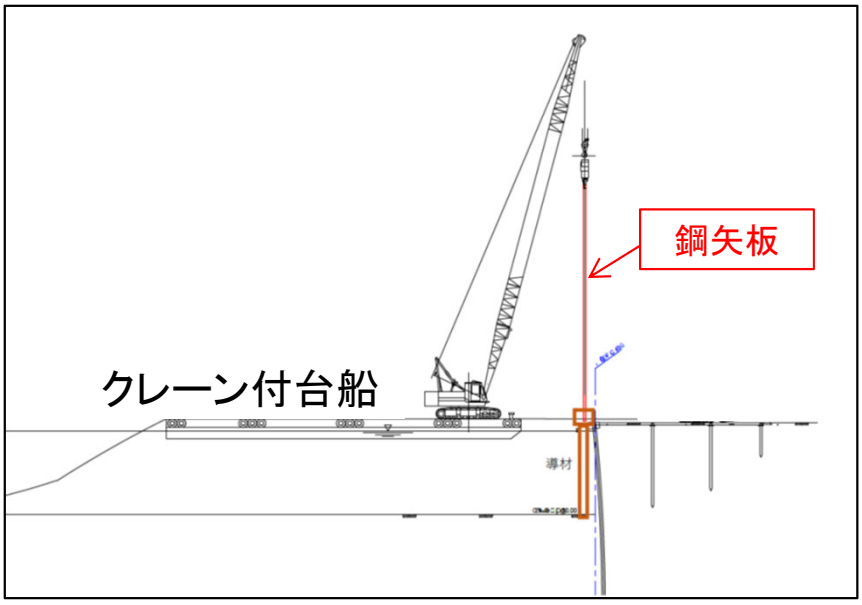
金沢港（南地区）岸壁（−10m）（戸水1号・2号） 復旧概要

別紙2

本体工（鋼矢板打設）の概要

①鋼矢板規格：長さ28m、幅0.9m、数量 414枚 （岡山県倉敷にて製造）

②施 工 内 容： クレーン付台船により鋼矢板を吊り上げ、ハンマーにて垂直に打ち込む。



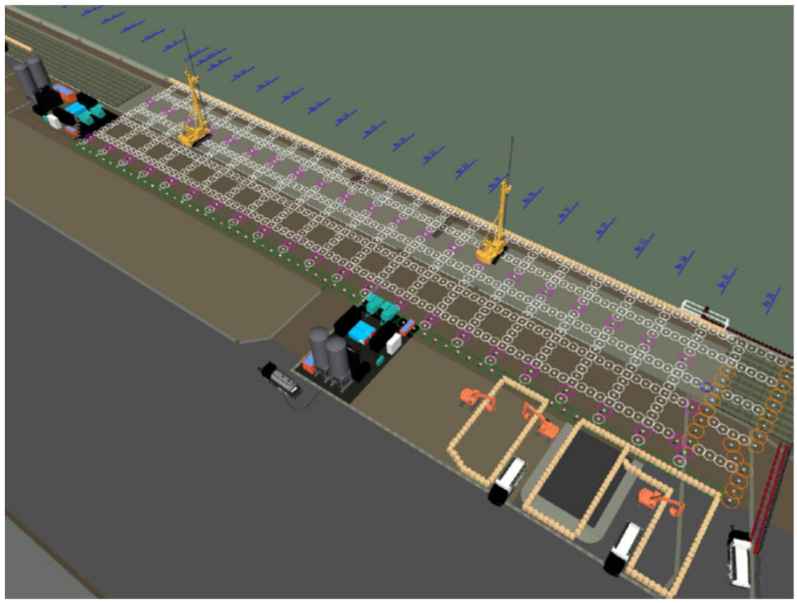
打設イメージ図

【参考】無量寺岸壁施工時（平成30年10月）

液状化対策（地盤改良）の概要

①工　　法 ： 高圧噴射攪拌工法

②施工内容： 地盤改良機により、地中にて液体の固化材（セメント系）を高圧・高速で噴射、攪拌することで地盤を固結する。
※既設構造物（基礎杭等）がある箇所においても施工が可能。



施工状況イメージ

【参考】地盤改良機

別紙３

取材申込方法

取材を希望される報道機関は、下記１～４の必要事項を記入の上、メールにより申込をお願いします。

申込メールアドレス　　pa.hrr-kanazawa@mlit.go.jp

期限：３月１２日（水）１６時まで

１．報道機関名

２．取材者氏名（入場される方全員の氏名）

３．電話番号

４．メールアドレス

※．その他
制限区域内への入場となるため、取材を希望される方全員の申込が必要となります。
現地の取材対応は、３月１３日(木)９：００～１１：００（予定）までとします。
当日は、戸水Ａゲートで受付を行ってから入場してください。
安全上の観点から係員の指示に従い指定された場所に駐車をお願いします。